

このニュースへのご感想・ご意見をお寄せください!

日本共産党

2015. 11. 5

352号

# 杉並区議団ニュース ～党区議団の論戦ハイライト～

## 第三回区議会定例会報告

日本共産党杉並区議団ニュース No.326 杉並区阿佐谷南 1-15-1 区議団控室  
Tel.3312-2111 (内 2319) Fax3312-2610 Eメール kugidan@jcpskd.net

# 悪政の防波堤となり住民生活を守れ



金子議員

9月10日 一般質問

### 憲法違反の戦争法廃止へ！違憲立法容認は許されない

憲法違反の戦争法強行成立に対し、国民の世論と運動が広がっています。地方自治体が憲法を順守する姿勢に立ち、住民の安全を守る立場を堅持することが、今こそ求められています。

杉並区で行なわれた運動や17名の超党派議員による戦争法廃止に向けた共同行動などを取り上げ、杉並区長の認識を問いました。

区長は答弁に立たず、所管部長が「残された審議時間のなかで、合意形成の努力を」と答弁。事実上、違憲立法である戦争法を容認する姿勢を示したことは重大な問題です。

党区議団は引き続き、住民との共同や超党派の取り組みをさらに広げ、戦争法を廃止するために全力を尽くします。

第三回区議会定例会（通称・決算議会）が閉会しました。本議会は、2014年度の決算に対する総括を行ない、来年度の予算編成に活かすという重要な意義をもっています。  
党杉並区議団は、安倍政権の暴走が加速するもと、深刻な生活苦が広がる区民生活の実態を捉え、論戦を展開。区民の暮らしを守る責務を果たすよう区の姿勢を質しました。

### 豊かな財政力を区民生活に活用せよ 住民が主人公の財政運営に転換を

当該年度、杉並区の財政力は一層の豊かさを示す決算数値となり、経常収支比率（※1）は遂に70%台に。一方、消費増税や社会保障改悪などにより、住民の生活苦は広がっています。本来、区民福祉の向上にあてられるべき予算が、まともに使われていない状況が発生しています。質疑では、財政指標にこだわり続ける問題を指摘し、区民本位の財政運営を行うよう求めました。

豊かな財政力を背景に財政調整基金に54億円が積み立てられました。着々と、550億円もの「財政のダム」（※2）を目指した基金積み立てが進められています。区は、住民の行政需要に応える財政運営を行うべきであり、550億円を目指した過大な積み立ては改めるべきです。

区民が主人公となる財政運営に切り替えることを求めました。

（※1）財政構造の弾力性を測定する指標。人件費や扶助費、公債費など縮減することが容易でない経常経費（義務的経費）にどの程度、予算が費やされているかを判断し、低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くあることを示している。都市部などインフラが整備されている場合や自治体が福祉や教育に力を入れれば、引き上がることになる。

（※2）550億円の溜め込みを目標とした積み立て。現在420億円を超えている。



原田議員

10月2日決算特別委員会で質疑

## 党区議団を代表して意見開陳

10月15日意見開陳



山田議員

### 国の悪政に立ちはだかり、豊かな財政力に相応しい施策展開を

決算審議では年々負担が増していく保険料や税の実態が明らかとなる一方、区民の現状・暮らしの実態に、極めて鈍感な区の姿勢が浮き彫りとなりました。区民の現状を正確に把握し、的確な対策を講じることが、杉並区行政に強く求められており、現状の区の姿勢は極めて不十分です。

この間、党区議団の指摘や区民要求の高まりを受け、当該年度の民生費における保育や介護への予算は増えました。しかし、まだまだ豊かな財政力に対して、住民福祉は不足しており、現状には大きな乖離があります。様々な住民要求は、莫大な経費を掛けずとも実施出来る施策があるにもかかわらず、脇に置かれたままです。区民生活の実態と財政運営が乖離している現状を直ちに改めることを求めました。

### 区立施設再編整備計画をいったん凍結し、住民との合意形成を

質疑では、区立施設再編整備計画の重大な問題が次々と明らかになりました。住民説明会を拒絶し、住民との合意形成を軽視する区の姿勢は住民自治の基本的立場を投げ捨てるものであり、重大な問題です。区は再編整備される施設について「機能は継承される」と強弁していますが、具体的に動き出した計画は施設機能の劣化が明らかです。計画の修正や変更も相次ぎ、場当たりの対応が繰り返されています。あんさんぶる荻窪の財産交換では築10年のあんさんぶる荻窪を手放す一方、“同様の機能を持つ”新たな庁舎建設に30億円を超える税金を注ぎ込むことも明らかとなりました。使用料の引き上げにより施設を利用できなくなる等、住民の社会参加も著しく阻害されています。各地で進められている再編整備計画の凍結と見直しを求めました。



各地で区立施設再編整備計画が進む…

# 党区議団の論戦により重大問題が明らかに

## 区民を欺く重大問題 将来人口推計を使い分け、施設削減の根拠に

区立施設再編整備計画において、「国立社会保障人口問題研究所」の将来人口推計が示され、施設削減の根拠とされています。この人口推計に基づき、30年後には大幅な人口減少と超少子高齢化となり「特別区税は190億円の減」「社会保障関連経費は333億円の増加」と試算し、区立施設は現状のままでは維持できないと、施設削減を正当化しています。

しかし、この人口推計は実態との乖離が大きく、杉並区は保育分野や介護分野等の各計画に区独自の人口推計を使用しています。杉並区の人口推計は高齢化や人口減少の傾向が全く異なり、急激な人口減少や高齢化などは起こりません。施設を削減するときだけ「超少子高齢化」のデータを使用し、削減の根拠とすることは重大な問題です。

質疑では人口推計の使い分けの実態が改めて明らかとなりました。一方、区は実態との乖離の大きい人口推計データの使用に固執する姿勢を示しました。

将来不安を煽り、施設削減の根拠とすることは区民を欺く行為であり許されません。



富田議員

10月6日 決算特別委員会で質疑

## 区立施設再編整備計画で施設機能は低下…「1+1は2にならない」

阿佐谷地域の施設再編整備計画について問題点を明らかにし、計画の撤回を区に求めました。

計画で統廃合されようとしている「産業商工会館」「阿佐谷地域区民センター」は、施設の稼働率も非常に高く、長年の間、区民に親しまれてきた施設です。しかし、区は「類似する機能は整理をする」としており、質疑では、「この計画では必ずしも1+1が2になるわけではない」と、露骨に施設機能の削減方針を示しました。また、施設機能が統合された場合、杉一小は高層化することにもなりかねず、良好な教育環境が維持されるのかも不透明です。

新たな杉一小との複合施設は「阿佐谷地域のランドマーク」「シンボル」などとされ、大規模化することも明らかとなりました。あんさんぶる荻窪の財産交換による新庁舎棟の建設に加え、阿佐谷地域でも大規模施設の建設計画が進み始めています。駅を中心とした大規模施設の一極集中にこだわる区の姿勢は問題であり、典型的なハコモノ行政に移行している状況です。



上保議員

10月6日 決算特別委員会で質疑

## 「地元町会も反発」財産交換を巡り重大問題噴出！道理の無い計画は直ちに中止を

あんさんぶる荻窪と荻窪税務署の財産交換を巡り、問題が噴出しています。区は財産交換の必要性を「大規模特養ホームの整備のため」としていますが、今議会で区長は“二つの税務署を一つに統合したい”という思惑を語る等、財産交換の出発点も迷走を始めています。

地元荻窪の7町会長連名で提出された要望書（あんさんぶる荻窪内の児童館施設を桃2小に移設するため、早期に桃2小の改修を求めるもの）についても“要望書の準備に区の職員が関与した”という事実が、質疑を通じて明らかとなりました。既に地元の2町会は要望書を取り下げ、地域ぐるみの財産交換反対運動が広がっています（左写真・地元商店街に横断幕が掲げられる事態に）。

この間、区は住民との対話やあんさんぶる荻窪での住民説明会を拒絶しており、住民不在のまま財産交換を強行する姿勢は異常です。

質疑では、新たに30億円以上をかけて建てられる新庁舎棟の「地域包括ケアのバックアップ機能」にも全く具体性がないことが明らかとなりました。また、特養ホーム整備は廃止決定された宿舍（荻窪税務署隣接用地）などを活用することで速やかに整備も可能となります。

あんさんぶる荻窪内の荻窪北児童館を廃止し、住民が培ってきたコミュニティを破壊する計画は不合理極まりないものであり、財産交換方針の中止を求めました。

10月2日 決算特別委員会で質疑



くすやま議員



地元商店街には「子どもの居場所守れ」の横断幕。

## 具体化される区立施設再編整備計画 計画の強行ストップを！

### あんさんぶる荻窪と荻窪税務署の財産交換

財産交換に関する議案が2016年第1回定例会（2月～3月）に上程され、財産交換方針が審議されます。

### 産業商工会館

減築改修（2・3階部分の解体）のため、2015年11月～2016年8月まで休止となります。

### 施設使用料も引き上げ

2016年4月1日より、施設使用料がさらに引き上がります（第二期）。今後、2017年4月にも引き上げられます（第三期）。

### 和泉児童館 区内初の児童館廃止へ

具体的な機能継承の方向性が定まらないなか、2016年4月に子どもセンターに転用され、児童館施設は廃止されます。

### 科学館

2015年度をもって廃止されます。跡地活用や代替機能整備の方針は未定です。

他の施設の状況は、杉並区議団までお問い合わせください。